

県民の皆さまへのメッセージ

- 本日、県内で新たに8名の感染が確認され、直近1週間の感染者は16名となりました。このうち9名は感染経路が不明です。
- このような状況は、県内で市中感染が発生している可能性を否定できないものと考えます。
- このため、県の「感染症対応の目安」のステージを昨日「注意（黄色）」に引き上げたばかりですが、本日、「警戒（オレンジ）」に引き上げることにしました。気象警報で言えば、「注意報」から「警報」への引き上げに当たる判断です。
- 東京や大阪などの大都市、北海道などの状況と比べると、高知県の状況はそこまでではありませんが、今まで以上に感染防止への警戒が必要な段階にあります。
- ここ数日間の感染者の状況を見ると、「会食」が感染拡大の契機になっていると疑われるケースが少なからずあるのが実状です。
- 県民の皆さまに、当面2週間の期間で特にお願いしたい点が「会食」に関してございます。
- 忘年会が予定される季節ですが、例年どおりに実施するのではなく、例年よりも可能な範囲で規模を縮小したり、時間を短縮したりという取り組みをお願いします。
- 「社会経済活動」と「感染防止」の両立を図りたいという基本スタンスは変わりませんので、予約をキャンセルして忘年会を止めることまでは求めたくないと思っております。
- どういう感染防止対策を行えば社会経済活動を行うことができるのかという観点から、忘年会については、感染防止対策をしっかり行い、可能であれば規模縮小や時間短縮の見直しを行ったうえで実施していただきたいというのが私の本意です。
- また、前提として、これまでもお願いしてきた「マスクの着用」、「手洗いの励行」、「3密回避」といった基本的な感染拡大防止対策の徹底も改めてお願いします。

- 「経済活動の回復」と「感染拡大防止」を両立していかなければなりません。今は「感染拡大防止」について、新しい取り組みが必要な段階です。
- この2週間、会食について取り組んでいただくことで、クリスマスや年末年始を県民の皆さまに穏やかな形で迎えていただきたいと思っておりますので、会食の規模縮小、時間短縮をできる範囲でお願いします。
- 県民の皆さまには、私の真意を汲み取って、ご協力いただければと思います。

令和2年12月2日

高知県新型コロナウイルス感染症対策本部長
(知事) 濱田省司

高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年12月2日時点)

判断指標 ※1	ステージ	感染観察 (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
	直近7日間の新規感染者数	0～3人	4人以上	14人以上	105人以上	175人以上
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> □ 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1～2m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに換気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 □ 各店舗における適切な感染対策の徹底 				
	国の分科会のステージ区分	Ⅰ 散発的発生		Ⅱ 漸増	Ⅲ 急増	Ⅳ 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設		開館		屋内施設の休館を検討	休館
他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断					

※1 判断指標については、①全療養者数 (特別警戒：105人以上)、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合 (特別警戒：50%)、⑥PCR陽性率 (特別警戒：10%以上) の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。

県民・事業者の皆さまへ（令和2年12月2日～）

直近7日間（11/26～12/2）の
新規感染者数：16名



「新型コロナウイルス感染症対応の目安」の
ステージを「警戒（オレンジ）」に引き上げ

感染拡大を防止するため、今後2週間、県民・事業者の皆さまに以下の取り組みをお願いします。

県民の皆さまへ

<会食について>

- ・可能な範囲で規模を縮小し、可能な範囲で時間を短縮いただくようお願いします。

<基本的な感染防止策の徹底について>

- ・マスクの着用
- ・手洗いや手指消毒
- ・こまめに換気
- ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」に特に注意（別紙参照）

事業者の皆さまへ

- ・ガイドライン等に基づく感染防止対策がきちんと行われているか、改めて確認してください。
- ・感染防止対策が不十分な場合には、対策の徹底をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

